



聖☆魔乳將

そ、それでは

これよりお前に褒美を取らせる

ドキドキ

え、遠慮などしなくとこ
「ねも命令だ……早くもまおなはせこ

ドキドキ

うあっ、そ、そんなに激しく
擦るものなのか……

ニコニコ

あっ♡

ニコニコ♡

せ、先端が膨らんできた
まるで別の生き物のようだ……

ニムカニムカ

んげん♡

はあぁ♡

ニムカニムカ

ん？ 口を開けて欲しい？
こゝねでよいのだろうか...

ん？こゝねはいいんだ？
もうちょっとだけ？ わ、わかった

んあっ……いっはい出てる
あ、あんなに激しく出るものなのか……

がゅるるるるっ♡

がゅるるるるっ♡

ああ、あんなに腰を震わせて……
そ、それほど気持ちよいのか？



うぶっ…ん、んん…く、臭い
なんでいやらしい匂いなんだ……

どろまっ♡

はぁん♡

そ、それに、うぶっ
舌に絡みつくような味…
よ、よくもこんな…んっ、出したものだな

兵の士気を高めるべく
戦場で一定以上の成果を挙げた者に
性的な奉仕を行うべし

金銭的な報酬を控え、資金を温存する為に
発令されたこの制度は、兵達に熱狂を持って迎えられた

私も軍人
個人的に賛成は出来かねるが
兵の士気が大幅に上がったのは事実
ならば、従って体を差し出す他に手はなかった



す、すごい匂いだな
それにびくびくしている...

はぁっ♡

手で擦って舐めればいいのだな
わ、わかった...
やってみよう

はぁっ

はぁっ



ん、んん……
くうっ、い、息を吹きかけただけで
こんなに脈打つのか

ん、んん……♡

ん、んん……♡

は、早くしろなどと急かすな
そんな事をしなくても
ちやんと奉仕してやる

ん、んん……♡

んんっ、びちやっ
んっ、ん…あ、熱い…

びちやっ♡

れろおっ♡

んんっ、れろっ、んっ
あ、ああ、手でも扱くんだったな



んっ、ちゅっ、んっ、ちゅっ、んっ
「これでいいのかな？」

んっ、ちゅっ、んっ、ちゅっ、んっ

んっ

れるれるっ

んっ、ちゅっ、んっ、ちゅっ、んっ

んっ、ちゅっ、んっ、ちゅっ、んっ
せ、先端から何か出て…んっ
さ、さっきよりも硬くなってる

ふああっ!?!?
う、うあっ、凄い…

がっ!?!

目、目の前でひゆるひゆる出てる
間近で見ると、な、なんともいえない
迫力があるな…

ひゆるるるっ♡



うあ……か、顔も熱い……
うっ、酷い匂いだ……

はあ……♡

どきどき♡

そ、その割には陶醉した顔をしている？
し、してないっ
断じて……してごなごぞっ

んっ……こゝ、今回は
まだ終わりにゃあないんだったな

んべっ♡
ぐわぐわ♡

また口を開かせて…
「この前のように、私の舌に
精をぶちまける気か？」

がしっ♡

え？ は、半分正解？
ち、ちよっと待て
なんで頭を掴むんだ？

そ、そね「ん」おはぢぢぢ
近すぢぢぢぢぢぢぢ...

びんっ♡

じゅぶん♡

じゅぶん♡
...!!

じゅぶん♡

ぐ、口がはっ。おがっ、犯されっ...?
おほおんっ...? ぶぐおおおっ...?

じゅぶん♡

がむゅっ
ー



.....
.....

な、生臭いのがあふっつっっー？
喉っ、喉叩いでっっっっっっっっっっー？

びゅるっ
びゅるま♡

とろまっ♡

ん、んぶほおおお……
ぶはっ、は、はああああ……

んん

ぐくちの中はあ……
ね、ねはねはしてええ……ふはっ
あ、あちゅいよおお……

んん



奉仕活動中の女性への乱暴な行為は禁じられている
無論、今回のような強引な口唇奉仕などは処罰の対象となる

とろまっ♡

しかし、私は彼等の行為を咎める気になれなかった
犯されている時、私は確かに快樂と言おうべき感覚に
全身を支配されてしまったのを自覚していたからだ

んくんっ

こ、これは少し変態的過ぎるのではないか？
小便をしている所を見たいなんて…

むちっ♡

どろどろ♡
どろどろ♡
どろどろ♡

へ、変態的なのが寧ろいい？
くっ…し、しょうがない
しっかり見せてやるから、目に焼き付けておけ

んっ……す、少しずつしか出ないな
そ、そんなに急かすんじゃない!

み、見られながらするのなど
始めてなのだから……
言われずとも、きちんとしてやる

ほたっ♡

ふふ♡
ふふ♡

ふふ♡



はあっ、はあっ……
ど、どうだ？…満足できたか？

はあっ♡
はあっ♡

じゅあっ…♡

し、小水以外の物で私が濡れている？
気、気のせいだ。いいか、気のせいだからな

ひえっ！？
なっ、ななっ何をするっ！？

ふんっ♡

んっ♡

き、気のせいかなんか確かめる…
ち、ちめらおっ、早まるなっ

おちっ♡

んっ♡

あっ、ああああっ…
そ、そんな方チ方チの物を押し付けてっ…

ぶっっっ♡

ひ、引き返すなら今の内だぞっ？
今なら、今ならまだ許して…

いっ♡

あっ♡

んほほおっ...?...
しっしょんがら激しっしょん...!

ぐちゃっ♡

ぐちゃん♡

ぐちゃっ♡

せ、せめて優し〜んごう...!
あかっ、はっ、はああああっ!

は…あ？ ああああああっ！
出てっ、中に出てえへええっ！

おんズんっ♡

びんびんっ♡

いゅるいゅるっ♡

熱くて臭いのおおっ！
私の中に出てるよほおおっ！

ああはっ……んああ、中、中あ
よ、汚されちゃったよおお……

ぬちっ♡

はっっ

おっっ♡

ぬ、抜いへっ。もう許してえええっ……
は、早くうごかっ、あ、あはあ……



んほおおおっ！...?
ぬ、抜くのおほっ！
かき回すんじゃないっ！

ぐちゃ

ぐちゃ

ぶるん♡

ぶるん♡

ら、らめへええっ！

熱くて臭いのおっ！

精液が中に馴染んじゃうっ！



んふっふっふっふっあぁあっ！
あぁあはっ、溢れるうっ！
精液溢れるうっうっ！

どゅっ♡

んぐっ♡

んっ

ら、ちめへええっ！
出したらためへっ！
戻れなくなるうっんっ！



あへっ、はへ、へ、へへええっ
も、戻れなくなるよおお…
気持ちよくてえっ

どちっ♡

あへっ♡

んく
んくっ♡

気持ちよくてっ
戻れなくなるよほおおっ…
あああっ、あちゅいいいい…



この時を境に、私は日常的に犯されるようになった
もう、褒美などではなく、私の体は
兵士達の肉便器扱いだ

勿論、抵抗する事も告発する事も出来たが…
私は快楽に流されるままに
兵士達の性欲を一身に受け止めていた





んほおおっ!
あっ、ふああっ、はあっ

ふるん♡

めふ、

ふるん♡

めふ♡

めふ♡

お、おちんほおおっ
おちんほずっぶり入ってますっ

ひぐうんっ！
は、激しひっ！

いっっっ♡

びっっ

びっっ

ふっふっ♡

びっっ びっっ♡

む、胸があっ！
胸が揺れてへっ、ひぎっ
ね、根元があはあっ！

お、おほおおおんっ！
ザーメンんううっ！

おんんんっ

ぐちっ♡

ふんん♡

んんんん♡

くっせごザーメンっー
便器まんこで出ましたあはっー

はあーっ…はっ、はあっ
あ、はああっ……
ザーメンがあっ、中に溢れてますっっ

ああっ、お、おちんちんも硬いまま…
は、はひっ、遠慮なくっ
子宮突付いてかき回して下さいっ

はあっ♡
はあっ♡

ぽたっ♡



あああああっ...

し、子宮がああっ、押し上げっ
押し上げられてるうううっ

ぬるぅっ♡

いっしん♡

ガチガチちゃんほが奥までっ
は、入ってええっ!!
んはああっ、み、脈打ってりゅのおっ!!

あああっ！ 来たあはっ！
かき回されてるうっ！
ちんぽでかき回されてるうっ！

びちゃびちゃ♡

ぬちゃ
ぬちゅん♡

ぽか♡

はん♡

んふはおっ！

一突きいふっ！

脳までっ、脳まで痺れるっ！

くはあああっ……!!
ザーメンんっ……!!
おかわり来たあはあああっ……!!

んっ
ゆふっ♡

まへんっ♡

まへんっ♡

便器まんこの奥の奥までへっ!!
あちゆういザーメンんっ!!
ありがとうっ!!



はああ……

お、奥の奥までいっばいでえ……
ぎ、ザーメン漏れ出しちゃうの……

どろっ♡

はああ♡

どろっ♡

ああ、せ、セラのオナの便器まんこおっ
か、可愛がってくれたさって
あ、ありがとっ♡おしまひたあ……

この頃になると

私はすっかり奴隷生活を楽しんでいた
マゾ的な快楽に目覚めた体と心は
兵士に犯される事に喜びを感じていたのだ

今や、兵士の逞しいちんぽから出る精液は
私にとって何にも変えがたい「褒美」になってしまっていた



んっ……「これでもいいのか？」
胸でするなんて、始めてだから加減がよく……

むっん♡

たぶん♡

充分気持ちいいって？
そ、そうか。ならこのまま……



んっ、少し強く挟み込んで…
ぬ、濡らせばいいんだな？

な、なんだか胸を犯されてるみたいで…
興奮してしまうな…んふっ

ぐっ♡

んっ♡

んっ♡



んんっ、んっ、ぶっっ
た、谷間が…んっ、汗と唾液で粘っついて

はあ……っ
よし、後は上下に扱けばいいんだっとな

た、っぴんっ♡

はっ♡

っっ♡



んっ…なんだ、期待しているのか？
さっきより硬くなってるぞ

おっはっ♡

「こりえ性のないちんぽだな…♪
ふふ、構わない、それくらい
むぎ出しの欲望がなくてはな♪

おっはっ♡

んんん、ほひほひム
擦るたびびびくびく痙攣してるぞム

おにゅん♡

んんん♡

おにゅん♡

そんなに敏感に反応してくれると
こっちも奉仕のしがいがあるなム



んふあっー！
ふふっ、出た出たっ♪

どんっ♡

いゅるるうっ♡

んふあっー……
中出しも……
顔で受けるのも悪くない

んう…はあっ、凄い粘り気…
臭いも酷いし、暫く取れないな

はあっ♡

どろっ♡

んうっ…
でも、私はこのくらい濃い精液が好きだ
最後の一滴まで搾り出してやるからな♪

受身の奉仕だけではなく

こころした攻めの奉仕も積極的に楽しめるようになってきた



最早、セックス無しでは生きていけない
そんな人間になってしまった事を自覚する
しかし、不思議と嫌だとは思わなかった

ま、まさか後ろの穴でしたいなんて
言われるとは思わなかった

ぽんぽん

ぽんぽん

本当にいいのか？
ど、どうして後ろを持つこのか？

ぷちっ



あつ……そ、そんな
広げて見られてる……

がしゅん

にゅん♡

うあつ、な、なんだか
視線で犯されてるみたいだ

いっくっ♡

がはあっ♡

……うひひん
……うひひん……
……うひひん……

ずるずる♡

お、奥まで捻じ込む奴があるかっ
あっ、はあはあはあ

ヒッッー!??

し、尻があっ、尻が捲れるっっっっ

びゅっ♡

びゅん♡

ああああっ...お、犯されてるっっ
こんな変態みたいにいっ
私犯されてるよおおっ!

ぬふっ♡

んくはああっ……
ああはっ、おしっ、お尻に精液いいっ……

おんえっ♡

びゅん♡

びゅんかかっ♡

おんえっ♡

んくはああっ……
ああはっ、おしっ、お尻に精液いいっ……



はあっ♡

ん、ふはあううう...
ま、まだお尻にちんぽ入ってるううう

ん

ああ...なに、何かするの？
ふ、ああ...「これ以上すい」の来たらあ

ん♡

どろっ♡

わ、私おかしく……えっ？
ま、待って。なんで前……

んんっ♡

んんっ♡

はっ、ま、まよっかっ……
ま、待ってっ。心の準備があっ

わいっ♡

わいっ♡

が、あ、ああああっ！
お、おまんこにもちんぽもおまんこっ！っ？

じゅぽうっ♡

っ！っ！っ！っ！っ！っ！っ！
壊れそうなんやんっ！っ！っ！

ひいひいひいんっ！...
中でんっ、おちんぽを擦ねてるっ！...

んんんっ♡

しゅんっ♡

じゅんっ♡

お肉を挟んでこりこりっってえっ！
こっ、壊れっ、壊れりゅっひっひっ！...

ぬんっ♡

ぬんっ♡

あ、あふ、ふへええ…
ああっ、まだ中にいっ…はあっ
感触が残ってるようっ…

お、お尻とおまんことおおっ
精液いっ、どっちの穴でも美味しいよおお…

どろっ♡

こうして、私の身体に
処女と呼べる部分はない



おんん♡

どろっ♡

およそ奉仕に使える個所は
全て精液で汚し尽くされ
執拗に開発されてしまったからだ

はあっ♪ 嬉しいおちんぽはあっ
ずっぶり奥まで入りましたあっ

あはっ♡

ふっふっ♡

はあっ...とっても気持ちいいです
セ○イナの便器穴で、遠慮なく
精液出してくださーいっ

ずっぶり♡

ふはああんっー！
ザーメン染みるっー！

んっ♡

んっ♡

ザーメンがちりまねて感じて
便器までいじめるなれっー

どしっ♡

はあっ、はあめ………
まだおちんぼ硬いっ……

はあっ♡

どろっ♡

はあっ………
2回でも3回でもっはこ
絞ってあげますねえっ



あはあっ……
おまんこから精液漏れてきました♪

むちっ♡

はあ♡

どろっ♡

もったいなくはしゃぎ……
から、こいさどや
すぐに新しく入ってきますから



んふうっ…それじゃあ
腰使っちゃいます♪

ぬるうっ…♡

はあっ…軽く動かすだけで
おちんぼびくびくして
感じちゃうのぉっ…

あはあんっ！

じゅほしゅほするともっと動くうっ！
ちんほがあっ、ちんほが私の中でえっ

あは♡

じゅほ♡

じゅほっ♡

じゅほん♡

はああっ、気持ちいいってえ
喜んでるのおっ！
あっ、あああっ、あはああっ！

あはっー！
に、二発目えへええええ…
す、すっっっい濃いよおっ

んんんっ♡

んんんっ♡
んんんっ♡
んんんっ♡

ゼリーみたいに濃厚な
あったかザーメン溢れてるっっっっっっ…

はっ、はっ、はっ...はっ、はっ、はっ
はっ、はっ、はっ...はっ、はっ、はっ

くっ

ん

ん♡

どろっ...♡

まだ出し足りないみたいだし...
ふっふっ、まだまだまだっ奉仕しちゃいますねっ



しかし、こんな乱暴なセックスを続けていければ
必ず訪れる結果と言うものがある



だが、私はその可能性にはあえて目を瞑った
そして、只管快楽に身を委ね続け...

はあて………いふらう、全部纏めて
相手をしてあげる♪

ぴゅんっ♡

すくっ♡

ふしゅっ♡

ふしゅっ♡

びんっ♡

びん

全身便器のこの身体で
おちゃんは気持ちよくしてあげる♪

んぶう、あう、はあう
ああう、はああんうう

わんわん

ぬるる

ニコニコ

ぬるる

ぬるる

あああう、うう奉仕なのにおう
それなのに気持ちいいのおう

いぬなはひゃん...
こやうして使器でいぬな...
ひゃん...

いぬな♡

いぬな♡

いぬな♡

いぬな♡

んはあぁ、まんこに出たあはっ！
はあんっ、一番絞り来たのおっ

あはっ、次は両手♪
はあー……肌を通して犯される感じ

どくんと♡

どしっ

どろろ……♡

ぶぶぶっかけらねると
おまをじきゅごきゅごじけいん

うふふう、3人とも満足した？
あはあ……よかったあ♪

おあ
どろっ

んし

んく♡

性欲処理がしたくなったら
私の身体をいつでも
たくさん使ってね♪

案の定、私は妊娠してしまった
もちろん、誰の子かなんてわからない
しかし、そんな事はどうでもよかった

妊娠しても、皆が変わらず
自分を可愛がってくれることが
とても嬉しかったからだ



は
げ
り

ま
ち
っ
♡

はあっ…全くだっ
臨月で相手が出来ないなら
せめてオカズになって欲しいなんて

ふふっ、もっと若い娘の方が
いいんじゃないの？
え、私の方がいい？

あっ、ふああ、すっすっ
みんないっぱい出てくるわ

出た瞬間にゼリーみたいだ
濃いってわかるくらいすっすっのあん

んがゅくっ♡

んがゅくっ♡



はあ……ふふふ、べたべた♪
それに、すっごく青臭い……♪

どろろ……♡

くす♡

ん……まだ満足出来ない？
なら、もっとぶっかけて
全身精液漬けになるくらいに♪

こうして、私は完全に彼等の精液便所に
墮落させられてしまった

どろろっ...♡

くっ♡

しかし、それを後悔してはいない
寧ろ、感謝しているくらいだ
明日も明後日もずっと

この身体の隅々まで、ご主人様達に犯してもらおう